

# 丸山湿原群保全の会会報

(第 200 号)

発行日：2024 年 (R6) 3 月 21 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会

〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail:[maruyamashitugengun@gmail.com](mailto:maruyamashitugengun@gmail.com)**戦争は最大の環境破壊と差別を生み出します！**

「三寒四温を繰り返し春に向かっていきます」時候の挨拶の定型句。本来真冬から「暖かさ」を感じる頃に使うものでしょうか？2 月末ごろ？

TV の情報番組で、毎年お天気キャスターが言っていたような…しかし、今年は「三寒四温」という言葉を聞いた記憶がない。(私だけかもしれませんが…)

本来は中国起源の四字熟語で日本の気候には合致しない言葉。しかし、日本の四季の移ろいを表現するには何か情緒的にぴったりな気がします。

お天気キャスターが言ってないのか、私が四季の移ろいを感じていないからなのか「三寒四温」どこ行った？という今年の冬が終わりました。寒さが続かなかった…と言っていたら雪が…吹雪いています。夕方には雪化粧！どないなってんねや！

多くのスキー場は早々に閉鎖。兵庫県は支援金を手当てするとか。ま～仕方がないことですが、今後スキー場はどうなっていくのかも心配です。夏期にキャンプ場として活用し始めているところもあるようです。スキー場は意外に生物多様性が高い場所でもあり注目されています。配慮も忘れずをお願いしたいところです。

冬季オリンピックが開ける都市が近いうちにほんの数カ所になるという話も。(温暖化) 株価や給料が上がって「ウハウハ」な感じになっていますが、お金がある人こそ地球のことを考えてほしいものです。じゃ～お前は？と言われれば…お金ありませんので…ちょっとは考えてるよ？

(今住 3 月 20 日作成)

## 年度末 ★いよいよ年度末。小学校・保育園からまとめの報告が届きました。

環境学習(自然体験)で一緒にした西谷小学校とはなみずき保育園から、まとめの報告とアルバムをいただきました。

西谷小学校は授業参観で「総合」の発表会？いろいろテーマはあったようですが、環境学習の時「私、丸山湿原をテーマにしてん」と言われたのが印象に残っています。グループ発表かな？昨年はそうだったような…行ってませんのでなんとも言えませんが。発表に使ったスライド(PPT?)をPDFにして送っていただきました。

小学校3・4年でPPTを作り発表(プレゼン)というのも時代ですが、たいしたものだと感心します。DX 時代、教える方も大変？最近のソフトは感覚重視。勝手に学んでいく部分も多いとは思いますが、リテラシー教育は重要です。

### 生物多様性

生き物たちのゆたかなこせいとつながり

・さまざまな生き物

・生きる場所

・ちがいをいかす

・上手く生きている

生物多様性をうまくまとめていますね

内容は「どう自然を守っていくか」。その中のスライドに「生物多様性」のものも。少し難しい？内容ですがしっかり学んでくれていたようです。スライドの中の「ゆたかなこせいとつながり」や「ちがいをいかす」「うまく生きている」などの感性は絶賛ものです。人間も生物。人の多様性も同じ。自然から大切なことを学んでいると思うのですがどうでしょうか。どんどん里山へ入って行きましょう。と無責任なことを言ったら「昔とは違うで！」と怒られそうですね。クイズもあって、保護者の方がどう答えたかも知りたいところです。

### 【自然を守るために】

- ・今の自然のじょうたいを教えていきたい
- ・木をふやす（新しいなえを植える）
- ・今出来ることを考え、出来るだけ自然を戻す
- ・木がくさらないように、薬とかで守って
- ・おいしい実が出来るようにする

間違いは間違い ビシッと指摘しときます

大変ですのでこの場で訂正しておきます。リテラシー能力の向上を！偉そうにごめんなさい。間違いはOKですが、それが事実か確かめることはとても重要です。私もよく失敗しますが…

はなみずき保育園のまとめは、ポストに投函されていました。わざわざ来ていただいたのか、はたまた西谷探検のついでか？「いちご狩り」もしていたな…かわいいリボン



はなみずき保育園マーク

がかかったアルバム。中には5歳児とは思えないひらがな書きで、「やまのぼりたのしかった」「はっぱをおしえてくれてありがとう」などなど。そして後半には写真がたくさん。

表紙はフェルトで「はなみずき保育園のエンブレム」を手作りして貼り付け。花が咲いていることに初めて気づきました。ただ、何度も聞いているのですが、「ざりがにクラス」と「かぶとむしクラス」そして「きりんクラス」の違いがよく分からない。確かに説明していただいたの

ですが…アホです。「ざりがに・かぶとむし」には「3・4・5」とマーク。「きりん」には「5」とマークがあるからひょっとしたら、縦割りのクラスが「ざりがに・かぶとむし」。同じ学年が「きりん」なのかなと、アホはアホなりに思い出しています。ブログを見ても「きりん」は出てこない？？？（<https://www.yoiko-net.jp/1050/article/list/>）



ざりがにクラスのマーク



かぶとむしクラスのマーク



きりんクラスのマーク



やまのぼり面白かったね



興奮気味のスタッフとの思い出写真

おっと、本題とまたずれとるがな！ま〜とにかく5歳児にとっては、「湿原特有の〜」は全く関係がないということがよく分かります。昨年からは理解して方向を修正しています。小さな「ハッチョウトンボ」でも大きな「オニヤンマ」でもワクワク。山をウロウロすることにワクワク。川に飛び込むことにワクワク。ズリ（はげ山）をズリズリするのにワクワク。

子どもたちの原風景となればなんと幸せなことかと思ってい

ます。お礼の「PDF」「アルバム」にワクワク、ニヤニヤです。来年度もぜひお越してください！

### 定期活動 ★2月25日（日） 恵みの雨で活動中止！

前日から高い確率の雨予報。今回はまず間違いなしとの判断で、「晴れても中止」と連絡を回しました。ちゃんと降りました。これでセトウチサンショウウオ（瀬戸内山椒魚）・アカガエル（赤蛙）類の産卵が増えること間違いなし、とほくそえんでいました。ただ、予定していた「両生類卵塊数調査」のセンサスラインは張れずじまいとなりました。どうしようか？無しで…

### 定期活動 ★3月9日（土） 両生類卵塊数調査・定期活動（基礎調査）8名で調査

両生類卵塊数調査です。例年2月の最後もしくは3月初めに実施していたのですが、今年の水不足や毎年セトウチサンショウウオの卵囊の見つかりが遅れてきていることを考慮し、この日としました。「恵みの雨」は降ったものの妙な気候です。さて、両生類（北方系）の活動はいかに？

ラインセンサスで毎年実施していたのですが、今年はラインは張れず。杭はありますのでそれを基準としました。調査員募集については会報だけの告知とし、特に宣伝はせず。



雪の残った切り株 駐車場周辺

朝は雪がうっすらと積もるとても寒い日でした。集まったのは会員のみ8名。少々寂しい感じはありましたが、のんびりと気楽に調査することができました。

雨のおかげで水位は回復、ECもほぼ雨水状態。「よ～し今年ウジャウジャ卵が見れるぞ」意気揚々と最初の第3湿原へ。杭を確認して上流へ。水筋を中心に探します。カエルの卵はここでは見つかりません。狙いはセトウチサンショウウオの卵囊。人数が少ないので全員で。計測は別ね。すぐ見つかるかと思っていたのですが、ない。しばらくすると「あった！」と第一声。ライン（バーチャル）センサスの範囲からずれた所ですが、これは毎年のこと。比較的長い？1片が見つかりました。その後木道脇で3対と2片。第3湿原総数3対と3片。今年も少ない？昨年は3月14日ごろに大量に見つかりました。一日で両生類の生息状況を調査するのも無理があるのかもしれない。言い訳っぽいけど…



通常の活動も

第1湿原に向かいます。土囊ダムのおかげか、かなり上手（かみて）まで水位があります。アカガエル類の卵は上手でも確認。セトウチサンショウウオの卵囊は見つからず。土囊ダムを覗いてみると3つのアカガエル類の卵塊が見つかりました。作りたて（土地を改変した）の年は産むことがないと思っていたのですが、かなり発生が進みオタマジャクシになって崩れた卵塊もあります。これは成果として今後の励みにしましょう。やはり付近にセトウチサンショウウオの卵囊は見当



セトウチサンショウウオの卵囊



奥では必死の卵捜索 第1湿原

これは成果として今後の励みにしましょう。やはり付近にセトウチサンショウウオの卵囊は見当



土囊ダムに産まれたアカガエル類卵塊



アカガエルのオタマジャクシ

埋没卵囊

シルトに埋まったセトウチサンショウウオ卵囊

たらず。さらに進みます。小学校の環境学習時に見つかったアカガエル類の卵塊はバラバラになって消え（オタマジャクシになった？）新たな卵塊が5つ。が、セトウチサンショウウオの卵囊はやはり見つからず。

結局、第1湿原の卵の数はアカガエル類9塊。セトウチサンショウウオの卵囊は0！

この結果に泣き崩れる会員も…嘘ですが。「この広い第1湿原で1つも見つからないなんて」と相当落ち込んでいる人もいました。

不思議ですね。両生類の卵ですが「産んでくれた！」「産んでくれなかった！」と「恩恵的」な言い方をみんなします。「ありがたい」ことなのか？保護しているから？「癒し」があるのでしょうか。生物多様性の「文化的サービス」。

一方両生類や爬虫類、昆虫などが苦手な人は「気持ち悪！」となってしまふから面白い。ただ、アカガエル類やセトウチサンショウウオは絶滅危惧種。セトウチサンショウウオに至っては、「希少野生動植物種（種の保存法）」に分類されています。絶滅していい生き物はいない！と私は信じています。何かしら互いに影響しあっているに違いない…。絶滅はその環境が失われた結果。多様性の減少。ひょっとすると「人」でも「気持ち悪っ！」と排除されることもあるかもしれません。自然から学ぶことは人の生き方にもつながるような気がします。「ええこと言いまんな〜」「お前（私）の生き方問題ありですが」脈絡もないし…

悔しいので、第4湿原と第2湿原へも。第4湿原ではセトウチサンショウウオ卵囊の抜け殻？のようなもの1つだけ。一昨年は月末にウジャウジャとありました。

第2湿原（通常調査なし）には、アカガエル類の卵がウジャウジャありました。オタマジャクシになりあちこちで泳いでいるもの、比較的産みたてなど様々。「じゃ〜セトウチサンショウウオの卵囊は？」よ〜〜く見るとシルトに埋まってちょっとだけ見えているものを発見。そ〜〜と手を入れると出てきました。2対かな？細かいシルトに埋まっていると見つけるのは本当に困難。きっと第1湿原の中にもたくさんの卵囊が埋没しているのでしょう。きっと…多分…おそらく…としときましよう。

私は最近のピークは3月中旬ではないかと思っています。アカガエル類とは相当ずれる？雨との関係もあるしね。確認できた数は少ないですがそれほど心配する必要はないと思います。甘いか？アライグマは確実に来ている。こいつは不気味やね。

私は最近のピークは3月中旬ではないかと思っています。アカガエル類とは相当ずれる？雨との関係もあるしね。確認できた数は少ないですがそれほど心配する必要はないと思います。甘いか？アライグマは確実に来ている。こいつは不気味やね。

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導 (EC)	PH
丸山湿原	9	18	入口	10:03	4.3℃		
登山・ハイキング	40	41	第3湿原	10:27	【6.4】	27.9 μS/cm	5.9
散歩	11	7	視点場	11:02	5.8℃	27.2 μS/cm	5.9
			第1湿原	11:15	【5.3℃】	30.4 μS/cm	6.1
			第2湿原	10:41	【4.0℃】	34.5 μS/cm	6.6

来場者数計 126 人  
(竹筒ポスト人数)

次回活動日 3月24日(日) 4月13日(土) 28日(日) 5月11日(土) 26日(日)